

4 共通評価項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

-1(1) 理念、基本方針が確立されている。	
-1(1)	理念が明文化されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・理念・基本方針は、明確に示され園全体に浸透し、その使命が果たされていることが確認された。 	
-1(1)	理念に基づく基本方針が明文化されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園要覧も明記されてわかりやすい。 	
-1(2) 理念や基本方針が周知されている。	
-1(2)	理念や基本方針が職員に周知されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・職員は十分理解している。 	
-1(2)	理念や基本方針が利用者等に周知されている。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の利用者アンケートで「園の方針や保育目標を理解した」は、理解あり78%、その他28% 「保護者会と園との連携は機能しているか」は、機能している61%、その他39%であった。利用者 者に周知されているかが課題といえる。これらを参考に今後の園運営に期待したい。 	

総合評価	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園の理念、基本方針と市次世代行動計画と対比する中で、どちらも理解でき納得できるが、例えば市の体系の基本方針「2. 地域で安心して子育てするために」とある。これを園の基本方針等どこかに置き換えれば、市と園が同一目標で邁進されていることに市民は納得できる。 	

- 2 事業計画の策定

-2(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
-2(1)	中・長期計画が策定されている。
評価結果	-
-2(1) 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	
-2(1)	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。
評価結果	-
-2(2) 事業計画が適切に策定されている。	
-2(2)	事業計画の策定が組織的に行われている。
評価結果	-
-2(2) 事業計画が職員に周知されている。	
-2(2)	事業計画が職員に周知されている。
評価結果	-
-2(2) 事業計画が利用者等に周知されている。	
-2(2)	事業計画が利用者等に周知されている。
評価結果	-

総合評価	-
<p>・「公共施設について、施設長に与えられた職掌の範囲内を考慮上で評価すること」と明記されている。 園長の責任の下で作成されていない中・長期計画・事業計画は評価できない。</p>	

- 3 管理者の責任とリーダーシップ

- 3 -(1) 管理者の責任が明確にされている。	
- 3 (1)	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・責任・役割は明確で、園運営の管理を遂行されている。 	
- 3 (1) 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	
評価結果	C
<ul style="list-style-type: none"> ・保育関係の「法」は50あり市当局で把握されているが、当園での必要な物を「リスト化」して職員で共有されたい。 	
- 3 -(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
- 3 (2)	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・十分に管理職の職責を全うされている。 ・ヒヤリハット図は、有効で安全安心の園運営のポイントといえる。「要因追求」が目的であるので、数字で表し順次潰していく方法が効果的である。 	
- 3 (2)	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・管理職として効率的なものは何か、改善に早急に取り組みすることは何か。常に課題はどこにあるか、市との緊密な連携で、課題対策はP - D - C - A手法を取り入れ実施されたい。 	

総合評価	A
<ul style="list-style-type: none"> ・保育指針に「保育所の社会的役割や社会的責任を遂行するために、専門性の向上に努め、職員が保育所の課題について共通理解を深め、協力して改善に努めて、課題を踏まえた研修及び職員の自己研鑽に対する指導や助言に努める。」とある。当園長の指導力は評価できるので、さらに管理職としての余裕を持ち、次の世代に受け継ぐ園長の育成と、園運営の模索を期待したい。 	

評価対象 組織の運営管理

- 1 経営状況の把握

- 1 -(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
- 1 (1)	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。
評価結果	-
- 1 (1) 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	
評価結果	-
- 1 (1) 外部監査が実施されている。	
評価結果	-

総合評価	-
<p>・「公共施設について、施設長に与えられた職掌の範囲内を考慮上で評価すること」と明記されている。 園長の責任の下で作成されていないので、経営状況の把握の評価はできない。</p>	

- 2 人材の確保・養成

- 2 -(1) 人事管理の体制が整備されている。	
- 2 (1)	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。
評価結果	-
<ul style="list-style-type: none"> ・市秘書課で実施。 	
- 2 (1) 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・客観性・公平性・透明性は保たれ、個人の方向性も明確になっている。人事考課は「差」を付ける手段でなく、個人の現状を一定の基準に従って把握し、個々の意欲を換気し、組織の活性化につなげることを認識した手法であることを全職員が共有して、職員の質の向上へ結びつけていくことが大切である。 	
- 2 -(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
- 2 (2)	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・職員ニーズに応えた勤務表等で配慮されている。サービス残業を皆無にされたい。 	
- 2 (2) 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい環境の中での職員の明るい笑顔で納得できる。ただ、職員の余暇活動（有給取得）、日常の支援等福利厚生を積極的に取り組まれ、明日の活力として是非積極的にモデル園として取り組まれたい。 	
- 2 -(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
- 2 (3)	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・「保育所は、保育の計画に基づいて保育士、保育の内容の評価及びこれに基づく改善に努め、保育の向上を図るとともに、その社会的責任を果たさなければならない」と指針にある。当園は、基本姿勢・研修体制が明示されているが、組織として、問題意識から課題を見つけてさらに質の高い保育を目指されたい。 	

-2(3)	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され、計画に基づいて具体的な取り組みが十分に行われている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園長の責務として「必要な環境に努めなければならない」事が指針にあり、特に研修を通じて質を高めるには有効な手段である。これらを当園では明確化されている。特に内部研修は、実践を通じて質を高め社会から認められる社会資源となる。 	
-2(3)	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・研修参加者のレポートが確実に園運営に活かされているか、また、輪番制での研修もある。研修での結果が、自己評価につながっているか等、再度自己評価され今後の改善・向上を目指されることを期待したい。 	
- 2 -(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	
-2(4)	実習生の受け入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取り組みをしている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・当日2名の実習生と会った。2名とも明るく、「後進の育成」がこの園で実施されていた。マニュアルもあり、今後も継続されることと思われる。 	

総合評価	A
<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉は、人なり」職員の育成は「質の高い保育を展開するために、絶えず一人ひとりの職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るよう努めなければならない」保育の質の向上ための目標と、その達成に向けた研修計画を整合されたい。連続性のない研修参加や職員の希望または輪番制は組織として一考を要するし「目的意識を持った研修」が市モデル事業所としての今後の模範となる。 	

- 3 安全管理

- 3 -(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	
- 3 (1)	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。
評価結果	A
・ヒヤリハット、ストップマップがあり、緊急時のマニュアルも整備されている。	
- 3 (1) 災害時に対する利用者の安全確保のための取り組みを行っている。	
評価結果	B
・公的機関とは、安全確保はあるが、立地上近隣で民家がない。やむを得ない条件であるが、近隣自治会等密接な関係を構築されたい。また、災害時に当園が地域の避難所となることも想定されたい。	
- 3 (1) 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	
評価結果	A
・ヒヤリハットの園外保育版の整備をされたい。園長が言われた「ヒヤリハット図は、件数ゼロでも必要。」は大切な言葉である。また、衛生上・感染症リスクも当然である。	

総合評価 A	
・「保育中の事故防止のために、子どもの心身の状況等を踏まえつつ、保育所内外の安全点検のために職員の共通理解や体制づくりを図るとともに、家庭や地域の諸機関の協力の下に安全指導を行うこと」であり、ヒヤリハット等で収集事例の分類・分析を職員の「職員の気づき」として、組織的・継続的に実施されたい。	

- 4 地域との交流と連携

- 4 -(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
- 4 (1)	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・学校・警察・消防署とは適切な関係を保っているが、地元自治会等については今一度検討されたい。 ・桜堂薬師（812年 弘仁3 = 来年開基1200年）・竹太鼓は伝統として持続はできる。 	
- 4 (1)	事業所が有する機能を地域に還元している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターの園外での「出前講座」は、市モデル園として全市に展開を期待する。 	
- 4 (1)	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・「絵本の読み聞かせ」15名のボランティアは、子どもたちにとって新鮮に映り楽しみが増すと思われる。ボランティアさんには（園庭整備のボランティア含む）「ボランティア保険」の加入確認も大切と思われる。 	
- 4 -(2) 関係機関との連携が確保されている。	
- 4 (2)	必要な社会資源を明確にしている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携は確保されている。 	
- 4 (2)	関係機関等との連携が適切に行われている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の共有はされている。 	

- 4 -(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	
-4(3)	地域の福祉ニーズを把握している。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターの園外での「出前講座」や地域交流等で「子育て・保育ニーズ」のアンケート等で把握されたい。 	
-4(3)	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援室が実施していることは理解できるが、園独自の取り組みに期待したい。 	

総合評価 A	
<ul style="list-style-type: none"> 関係機関等との良好な関係は続いている。 社会資源の市モデル園として、子育て支援室や他の保育所との協働作業で、全市での保育ニーズの把握と園庭解放・出張保育（一時預かり）等積極的な取り組みを期待したい。 	

評価対象 適切な福祉サービスの実施

- 1 利用者本位の福祉サービス

-1(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	
-1(1)	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解を持つための取組を行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・週案研・カリキュラム研・職員会等で子ども一人ひとりの様子・クラスの様子について討議、全職員で意思疎通を図り共通理解をされている。 ・「児童憲章」「子どもの権利条約」を保育の基本とし、様々な子どもが在籍しているが、どの子にも平等な保育を心がけた保育をされている。 	
-1(1) 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度当初、倫理要綱をもとにプライバシーの保護、守秘義務等について再度確認したり、市開催の個人情報保護研修に参加するなど個人情報保護に努められている。 ・「誰が見てもすぐ判かる」マニュアルのもと保育にあたり、保育士としての意欲真情が見られた。 	
-1(2) 利用者満足の向上に努めている。	
-1(2)	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組みを行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の送迎時間を利用し、「子どもの様子」「園内の状況」等を保護者に伝えたり、利用者アンケート・連絡ノート等保護者からの意見については、全職員で検討し、改善を図るなどされている。 	
-1(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
-1(3)	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・プライベートを守るための相談室があり、保護者が利用しやすい環境が整備されている。 	

-1(3)	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初苦情解決についての資料を配布、園内にも見やすい場所に掲示物を掲示し、苦情への体制を整えられている。 ・現在までに苦情を受けたことはない。 	
-1(3)	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな研修会に参加し報告時に良い点があれば、自園のマニュアルを見直し差し替えをしている。 ・マニュアル見直しには、全職員の意見を集約し、子どもの発達段階に見合った内容を心がけられている。 	

総合評価	A
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者を尊重する姿勢が至る所に伺えた。保護者からのアンケートや連絡ノートなど保護者一人ひとりの意見を大事に受け止め、連絡ノートに返答を書くのではなく、送迎時を利用し、保護者とコミュニケーションを取る等意見を述べやすいように努力されている。 ・マニュアルについても、初めて仕事をする人に判りやすく具体的に明記しており、定期的に見直すなどサービスの改善に努められている。 	

-2 サービスの質の確保

-2(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	
-2(1)	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・年3回主任児童委員2名・小学校長・昨年度保護者会長・園長の5名で評議委員会を開催し、保育参観の感想や本園に望まれる事柄を聞き保育の資質向上に努められている。 	
-2(1)	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・幼保一体のモデル園として新築された園でもあるが、評議委員会・自己評価等の結果を社会福祉課子育て支援室に報告するとともに、職員にもフィードバックし、課題を明らかにし見直しをされている。 	
-2(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。	
-2(2)	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・提供する保育については、市の入園前説明やホームページや園独自の資料で知ることができている。 ・気になる子どもの記録を、個別に記録し週案研で検討し、子どもの発達に応じたねらいを掲げ、ねらいに合わせた活動ができるよう環境を整えられている。 	
-2(2)	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・常に標準的な実施方法について、週案研・カリキュラム研・職員会で保育を振り返り見直し、次の保育に生かされている。 	
-2(3) サービス実施の記録が適切に行われている。	
-2(3)	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの発達状況・生活状況等の記録が、職員間で差異が生じないよう共通理解がされ実施されている。 ・特別支援学級等の研修会に参加、研修内容を次の保育に活用し、記録管理が徹底されている。 	

-2(3)	利用者に関する記録の管理体制が確立している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年全職員が個人情報保護法研修会に参加、公務員としての心得、守秘義務の遵守を周知、公文書の園外持ち出し禁止を徹底、記録管理され、園長と主任保育士が行い責任を持ち鍵のかかる書庫に保管されている。 	
-2(3)	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・気をつけたい子のリストがあり、職員で共有、支援の必要な子については、専門の先生の指導を受け、カリキュラム研等で報告し、その内容を全職員で共有されている。 	

総合評価	A
<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念や保育方針に沿った保育年間計画のもと園内研修を週案研・カリキュラム研・職員会等と常開催し、職員間で子どもの発達について共有理解をされている。 ・各年齢ごとの保育士が「このクラス1年で実践したいねらい」を年間計画に掲げ、月案・週案・日案に下ろし、自分流の保育を実践・記録、全体的な評価とは別に日誌の裏を活用し、記録する姿が見られた。子どもの健やかな成長のために適切な環境を与え、心身の発達を助長する保育を実践されている。 	

- 3 サービスの開始・継続

-3(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	
-3(1)	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・保育所を紹介する資料等は、瑞浪市の広報・社会福祉課子育て支援室・インターネット・ホームページ等で紹介、設置されている。 ・見学希望者には幼児要覧を配布し、園長が随時対応されている。 	
-3(1) サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・乳児の入所希望見学者が多く、いつでも見学・体験希望を受け入れ、そのつど園に対する説明・資料を配布しているが、地域的なこともありなかなか入所にはつながらない。 ・入所決定後2日間、親子で半日慣らし保育が体験でき、保護者から安心して幼稚園に預けられるとの声も届き好評であることが見られた。 	
-3(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
-3(2)	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・転園した場合には手順に従い「在園証明書」を保護者に手渡し、転園先に提出するように説明し、転園先の園からの申し出により「要録」を送付する体制を整えていることが見られた。 	

総合評価	A
<ul style="list-style-type: none"> ・瑞浪市共通の入園案内・桔梗幼稚園の幼児園要録・ホームページ・園だより等を利用者が活用し、瑞浪市に幼稚園の様子を聞いたり直接幼稚園に来園するなど、地域に根ざした幼稚園として活躍されている。 ・園周辺が自然に囲まれ水辺に心癒されるという幼児の環境とモデル園というケースからも、利用希望者が園を選択するために必要な情報を積極的に提供している姿が見られた。 	

- 4 サービス実施計画の策定

-4(1) 利用者のアセスメントが行われている。	
-4(1)	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・市内統一した様式が確立され、個別記録表の記録をもとに、子どもや保護者の身体状況・生活状況などを細かく記入し、学期ごとに見直しをされている。 	
-4(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	
-4(2)	サービス実施計画を適切に策定している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・保育課程・年間指導計画・各種計画を策定し、子ども一人ひとりに着目した指導計画策定のための体制が確立し、週案研・カリキュラム研・職員会で保育を振り返り、見直し次の保育に生かされている。 	
-4(2)	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりに着目した指導計画のもと週案研・カリキュラム研・職員会などでクラスや個人の様子を話し合い支援・援助にあたり保育を振り返り、見直し次の保育に生かした記録が見られた。 	

総合評価 A	
<ul style="list-style-type: none"> ・元気いっぱい広い園庭を走り回れる環境を活かし、一人ひとりの発達を促す援助の工夫に努め、保育課程・年間指導計画・各種計画を策定し、週案研・カリキュラム研・職員会等でクラスや個人の様子を話し合い、支援・援助にあたり、次の保育に生かした記録が見られた。 	

5 . サービス評価項目

A - 1 保育所保育の基本

1 - (1) 養護と教育の一体的展開	
A - 1 (1)	保育所の保育方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態に即するという意味で、将来、迎え入れる年齢層への充実を考えられている。 	
A - 1 (1)	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・木の香や、室内の明るさや肌に感じる風の動きなどの物的環境に恵まれ、そこから生まれる、ゆったりした心の在りようが、保育内容に良い結果をもたらしているように感じる。 	
A - 1 (1)	1 ・ 2 歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・多くの本が用意されている。大きい本が目についたが、小さくて薄い本や、手作りの本、昔の本などもあれば、好ましい。 ・保護者の知恵を十分に活用されたい。 	
A - 1 (1)	3 歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・給食時に、3 . 4 . 5 歳児のそれぞれの部屋を見せてもらい、5 歳児の給食当番の姿に感動。3 歳が あって、4 歳があって、この5 歳があると、保育への配慮を感じた。 	

A-1(1)	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮されている。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・難しさがあると思われるが、継続的な模索を期待する。 	

<p>総合評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員同士の話し合いや、研修や、個々の園児について把握すべきことなど、その周知への意識も高く、書類もよく整備されている。この上は、新しい視点での問題点をも見つけ、モデル園としての魅力ある発展を大いに期待する。
--

1 - (2) 環境を通して行う保育	
A - 1 (2)	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・もうこれ以上はないだろうと思うようなよい人的・物的環境でも、刻々成長している子どもたちには、何が起きるかわからない危険性はつきまとう。例えば、子どもたちの動線の観察などをされ、その整備についても向き合われるよう期待したい。 	
A - 1 (2)	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・個々の成長が異なる中で、基本的な生活習慣を身につけさせるのは、困難至極なことであると思われるが、よく努力されている。 ・テラス風の廊下と長いひさしが目を引いて非常に良い。工夫次第で利用度もいろいろ多くなるように思った。 	
A - 1 (2)	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・職員数にゆとりがあればこそその自己判定かと考えられ、子たちは幸せだと思う。集団のよさを利用しながら、一段の働きかけを期待する。 	
A - 1 (2)	子どもが主体的に身近な自然や社会と関われるような人的・物的環境が整備されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の動物をみせてもらったり、水辺の楽校を利用したりと、いろいろな場所にもでかけ、地域社会で暮らす人々との交流がある。 	
A - 1 (2)	子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・ちょうど3歳児の保育室で、男の先生のピアノにあわせて歌う、子たちの楽しそうな場面に出くわした。保育室の一体感があった。 ・本の自宅への貸し出しも行われているようで、そのことが保護者との暮らしにもどった時、良い親子関係に発展すればと期待する。 	

総合評価 A

- ・自然や新しい建物など、環境のよさへの職員の喜びを感じた。その喜びが、感謝の気持ちとなり、そのまた気持ちが、子どもたちの保育・教育につながる喜びとなるよう、強く念願してやまない。
- ・人的・物的ともにバランスのとれた質の高い環境とは何か、今一度全職員で話し合われることを期待する。毎日、職員が清掃されているということだが、まず清潔、安全安心が土台にあって欲しい。

1 - (3) 職員の資質向上

A - 1 (3) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。

評価結果 A

- ・自己評価が基礎となって、週・月間などの単位で話し合いが行われている。改善点を見つけようとの姿勢を感じたが、大きくは年間ごととしての動きであるように理解した。

総合評価 A

- ・資質向上について、一人ひとり職員の意識も強いと感じた。保育という、時を待てない人間形成の一端を担う事への誇りとともに、できる限り短時間での検討と実践を伴う意識改革を期待したい。

A - 2 子どもの生活と発達

2 - (1) 生活と発達の連続性	
A - 2 (1)	子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・受容の意識を第一に持たれて行われている。 	
A - 2 (1)	障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・園内が、バリアフリーになっている。 ・グレーゾーン児に対する個別支援がされている。一人ひとりの長を、全職員が周知できるよう互いに努力されている。 	
A - 2 (1)	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を信頼。長時間保育の環境については、あらゆる面からの検討を常に続けられるよう期待する。 	

総合評価	A
<ul style="list-style-type: none"> ・良く努力されているが、尚一層、安全・安心な保育が行われるよう、推進委員会を立ち上げられてもいいか考える。 ・廊下に積まれた寝具らしき物や、竹などが少し気になった。子どもたちの活動は、より床面に近いところにあるので、安心安全の中に、整理・清潔の文字もクローズアップされたい。 	

2 - (2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場	
A - 2 (2)	子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。
評価結果	A
・実施されている。	
A - 2 (2)	食事を楽しむことができる工夫をしている。
評価結果	A
・記録に「美味しかったです」の言葉が、多くあった。子たちの食事の様子にも秩序があった。	
A - 2 (2)	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。
評価結果	A
・されている。	
A - 2 (2)	健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。
評価結果	A
・歯磨きなどについて、専門家からの講話があり、園児たちも興味を持ったとのこと。	

総合評価	A
・計画的な保育内容の中で、子たちが楽しく生活している様子が見られた。	

2 - (3) 健康及び安全の実施体制

A - 2 (3) アレルギー疾患、慢性疾患等を持つ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。

評価結果 A

- ・個々に対応するのは大変であると思うが、努力されている。よいチームワークがあるから、と推測できる。
- ・アレルギー疾患を軽減させるためにも朝一番の掃除機かけなど実施されたい。

A - 2 (3) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。

評価結果 A

- ・適切に行われているが、これからも万全の整備に目配りを続けられたい。

総合評価 A

- ・「子どもの生活と発達」の場として常に、安心安全を推進されたい。
- ・新しさがいつまでも維持されるよう、床面に近いところの清潔に留意されたい。

A - 3 保護者に対する支援

3 - (1) 家庭との緊密な連携	
A - 3 (1)	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。
評価結果	A
・給食展示、試食会などを活用されている。	
A - 3 (1)	家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。
評価結果	A
・問題点があれば、連絡ノートや送り迎えの時を利用して対話を持たれている。	
A - 3 (1)	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。
評価結果	A
・懇談会や、園だより、クラスだよりなどを活用されている。	
A - 3 (1)	虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。
評価結果	A
・担当者は早期発見に努め、上司の指導なども受け、対処されている。困難を伴うと想像できるが、マニュアルや記録の再検討を常に念頭におかれ、保護者と一緒に、保育を苦しみ、楽しむよう努められるのも一策かと考える。	

総合評価	A
・保護者への支援については、最善の保育が目的であることを、そしてともに関わっていることを保護者に理解してもらい、その相互関係の大切さが維持できるよう工夫してもらいたい。	

A - 4 個別サービス評価基準（岐阜県独自項目）

4 - (1) 安全管理面でのサービス	
A-4(1)	外部からの侵入に対する対応策がとられている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・不審者対応マニュアルがあり毎月防犯訓練を実施、5歳児には5つの約束を覚えさせ、機会あるごとに5つの約束について知らせ、子どもを守ることを全職員で確認し実施されている。 ・情報が関係機関からすぐにFAXや電話で連絡が入った場合は、全職員に連絡し、園内にも掲示し保護者等に注意を呼びかけ事故防止に努められている。 	
4 - (2) 保護者とのコミュニケーション	
A-4(2)	保護者の保育参観を促すような工夫をしている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事計画を年度初めに配布し、いろいろなたよりで知らせたり、保護者が参加しやすい時間の工夫をするなど配慮されている。 	
A-4(2)	保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会役員会を毎月開催、保護者との連携を密にし、情報交換や相談などを受けている。 ・特に交通指導日には保護者会役員が進んで手伝い、保護者とのコミュニケーションを図っている。 	
4 - (3) 保育所・幼稚園・小学校との連携	
A-4(3)	保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の保育園3園とドッチボール大会を開催したり、小学校5年生と水辺の学校の花苗植え・小学校6年生とのふれあい遊び・小学校でのプール活動など機会あるごとに異年齢集団活動を実施し、保幼小の連携を深められている。 	

総合評価	A
<ul style="list-style-type: none"> ・不審者対応マニュアルがあり毎月防犯訓練を実施、子どもを守ることを全職員で確認し実施している。 ・情報が関係機関からすぐにFAXや電話で連絡が入った場合は、全職員に周知し注意を呼びかけ事故防止に努められている。 ・協力的な保護者が多くいろいろな行事に保護者が進んで参加したり、園側も保護者が参加しやすい時間の工夫をし、保護者とともに地域の子どもを育て合う姿勢が見られた。 	